なっとくんの

山口県立山口博物館　学校地域連携担当
２０１６年３月２８日　No.１５７

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

山口県の文化財・国指定の建造物　～重要文化財、近代③～

文化財とは、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産のことです。

国の指定による重要文化財

山口県の重要文化財の内、近代の建造物は７件あるよ。（2016. 2. 1現在）

有近家住宅

有近家は、江戸時代から酒造業を営み、明治時代には周辺の農地や山林を所有する地主となりました。明治25（1892）年に建てられたとされる主屋と米蔵、長屋、正門など7棟が指定されています。

旧毛利家本邸

旧長州藩主の毛利家が大正5（1916）年に建設したものです。

全体に上質な材料や高度な木造技術を用いた伝統的な和風デザインの住宅建築です。コンクリート造や鉄骨造、役割に応じた配置など、近代的な方法を取り入れています。

四階楼

明治12（1879）年に海上交通の要所として栄えた室津半島に小方謙九郎を施主として、迎賓もしくは宿泊施設として造営されました。文明開化の地方への普及がうかがえる和洋折衷様式の高層建築です。